



ROTARIANS
UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン
 奉仕に結束
 平和に献身



会長 吉野 勲 幹事 板垣広志 クラブ奉仕 高橋良士 職業奉仕 飯野準治 社会奉仕 佐藤元伸 国際奉仕 阿蘇司朗 青少年奉仕 菅原辰吉

出席報告：会員 79 名 出席 48 名 出席率 76.19% 前回出席率 79.37% 修正出席 57 名 確定出席率 90.48%

会長報告

吉野 勲 君

ようやく梅雨もあがったようで、これから暑さ本番といったところでしょう。

本日午前11時30分より第2回目の理事会を開催しましたので、そのことについてご報告申し上げます。第1番目に、鶴岡クラブでも来年は創立30周年になります。少し時期が早いようですが、今から創立30周年実行委員会を設立しておいた方が何かと今後の活動に良いと思ひ、今日理事会で承認を得ましたので皆さんにご報告致しますと共に、役員メンバーをよろしく願ひ致します。実行委員会のメンバーは

- 実行委員長 三井 徹 君
- 幹事 小池 繁 治 君
- 式典委員長 三井 賢 二 君
- 祝宴委員長 三井 健 君
- 記念誌委員長 石井 敬 三 君
- 記念事業委員長 小松 広 穂 君
- 接待委員長 山口篤之助 君
- 総務委員長 中江 亮 君

以上の方々であります。

次に、来る8月25日に志藤ガバナーが公式訪問されるわけですが、そのスケジュールは先に皆さんにおあげしてありますが、協議会の会場はこの所で、午後2時から午後4時までとなります。ガバナーはその後酒田クラブでの日程に入ります。尚、懇親会の方は場所等ははまだ未定なのですが、次の例会まで定め、報告致します。

以上で会長報告といたします。

幹事報告

板垣広志 君

- 例会日時変更のお知らせ
 余目R.C ゆかた例会のため
 日 時 8月8日(土) 午後7時点鐘
 場 所 余目商工会館
 登録料 3,000 円
- 活動計画書の到着
 余目R.C 温海R.C
- 会報到着 鹿兒島西R.C 鶴岡西R.C
- 酒田東R.C20周年記念式典のご案内
 8月20日(木) 仮登録

9月20日(日) 平安閣にて挙行

登録料 10,000 円

申込者は事務局の齋藤とも子さん迄。

なお、来年は当クラブの創立30周年行事があるわけですので、会員の皆さんには振って多く参加されますようおすすめ致します。

- 秋田東R.Cホストによる第254地区地区大会が来る10月17日・18日の両日行われますが、登録料は15,000円となっております。

参加申込者は齋藤とも子さん迄に。

委員会報告

出席委員会

佐々木喆彦 君

- 年間皆出席
 14年間皆出席 小池 繁 治 君
- 7月100%以上出席 13名
 250% 張 175% 新穂
 150% 佐々木、吉野
 125% 阿蘇、石川、板垣(広)、小池、菅原、関原、高橋、塚原、山口
- 7月100%出席 40名
 秋野、藤川、布施、平出、飯白、石井、石黒、市川、飯野、黒谷、加藤、小松、風間、三井(賢)、三井(健)、毛呂、迎田、松田、皆川、中江、中野、齋藤(隆)、佐藤(忠)、佐藤(順)、佐藤(衛)、佐藤(友)、鈴木(善)、鈴木(弥)、荘司、庄司、齋藤(昭)、丹下、鈴木(肇)、手塚(拓)、忠鉢、田中、碓氷、若生、笹原(信)、富田(直)

親睦活動委員会

丹下誠四郎 君

- 8月会員誕生
 庄司 嘉 男 君、富田 孝 一 君
 三井 徹 君、三井 賢 二 君
- 8月奥様誕生
 藤川 一 子 様、布施 和 子 様
 吉野 英 子 様、阿蘇 幸 子 様
 手塚 峰 子 様、三井 章 様

庄内空港の建設を推進しましょう

我が古里は歴史の町

鈴木 肇君



私の里が庄内地方の南西部にあります町田川と云う所ですが、この地に係わる豪族でもありました田川太郎行文についてお話してみたいと思います。

田川氏の歴史的文献は、“吾妻鏡”に見ることが出来ますが、田川太郎は平泉藤原泰衡の郎党で文治5年

(1189年)源頼朝の奥羽征伐の頃に、北陸道大將軍の比企能員と宇佐美実政等は鼠ヶ関より出羽国に侵攻し、田川太郎行文は、秋田三郎致文と共に出羽国を警固、これを迎え撃ち敗れたのであります。又室町時代になっての“義経記”には「ここに田川郡の領主田川の太郎実房という者あり、これは秀衡が知行のところにて云々、定めてこれも伺候のものにて候らわめ」とあり、又地元資料の羽黒山年代記に羽黒山修造「秀衡奉行」田川三郎建立云々と記されており、承安元年(1171年)の10月に羽黒山本社殿修造が始り、藤原秀衡から田川太郎実房が奉行に任じられ、1年の歳月をかけ竣工したと記録されてあります。このような歴史の地でありますので、当然のこと町田川とその附近一帯は石造文化の宝庫であり、それは藤原期、鎌倉期からのもので、豪族田川氏全盛時代を裏づける“証し”でもあります。

田川氏の館のあった場所は、宇高田と呼ばれる八沢川沿いの高台の地で、小中学校の敷地になるまでは水田であったし、かつて「大手口」の名をとどめ「土塁」があり、御屋敷、外屋敷、石倉少し離れて馬場、大蔵などがあったのであります。大手口の入口の橋は緑綵橋と呼ばれ、泉水にかけた橋であったと

云われています。西山近くに菩提所の蓮華寺があり、反対の東山には城柵址があり、扇台、桜台、七日台など取りまいてあります。この地は八沢川と少連寺川が廻り一帯を囲み、道は1本、行く手は山又山のまさに要害の地であります。田川館をのぼること約1km弱、八沢川向いが丁度西山の際になりますが、ここに鎌倉初期の五輪塔が立っております。これは県下最古のもので、斎藤市郎右エ門氏が守護しております。少し離れて阿弥陀堂があり、田川太郎持仏の阿弥陀如来立像が祀られてあります。七日台は田川館の前面にある梅林寺の真上にある丘ですが、約5mの間隔で一列に並んだ“骨壺”の側から直刀、反刀など副葬品が出土してますが、これは、田川氏の奥方や子供達の墳墓といわれてあります。

先に述べましたように、田川氏の全盛時代は鎌倉初期であって、当時奥州藤原氏は北方の王者でありましたので、その郎党田川氏は、藤原氏の荘官として田川地方の実権を握り、事実上田川地方の領主であったわけであります。

このような豪族田川太郎が文治の役でもろくも破れ去ったのは、色々と思惑もあったことと思われませんが……いずれにしても追討軍は、鼠ヶ関の天嶮を避けて中山通りから鬼坂峠を通り一気に田川館の本拠を襲ったようであります。田川氏の口伝には武力討伐の例がなく、有徳の士が続き、造寺、造仏の宗教文化に依って平和郷を築こうと願ったようであります。

お話しを進めれば、義経主従の奥州落ちまで続きますが、今日は時間もありませんので、町田川は歴史の古里であることだけ述べ、終りとさせていただきます。

ありがとうございました。

おしらせ

小池繁治拡大大委員より

来る9月上旬には鶴岡東クラブの誕生をみる予定。毎週水曜日に午後0時15分～1時15分まで、グランド エル・サンで行います。当クラブではこの例会出席をメーク扱いとします。

スマイル

張 紹淵君 この度セドリックの新型車が出来ましたので、交通安全を祈りまし

て……手塚君おめでとう。

手塚 拓君 皆さんからのご発表とは嬉しいやら、毎月のようにございますので、当社の女子社員が今年度の庄内ミス花笠に選出されました。ご声援の程もよろしく。

佐古田義明君

ピジター

鶴岡西R.C 鈴木昭吾君・奥山一善君
瀬尾助三郎君・長野正彦君